

心理学入門(1641)		橋本香織		併修科目・必修	
				1年	
				OT月曜1限	
授業のねらい	本講義では、今後さまざまな心理学の応用分野を学ぶために必要な、心理学的な思考方法と基礎知識を身につけることを目的とする。具体的には、基礎心理学として「学習」や「記憶」、心理学の歴史的発展を学び、さらに応用領域として「人格」や「メンタルヘルス」、最近の応用分野などにも触れる。これらを通して心理学の全体像を把握し、将来の専門分野や実社会において心理学の知見を活用するための基礎を築く。				
教科書・資料	毎回レジメを配布する。その他、参考資料の配布、紹介を行う。				
設 題	レポ ー ト 1	心理学の歴史と現代社会への応用について述べよ	清書	〇月〇日(〇)	
	(ポイント)	心理学が学問として成立してきた歴史について述べるとともに、心理学的知見がどのように現代社会に应用されているかについて実例を含めて記述すること。ヴントの構成主義心理学以降、新行動主義までの心理学史について、それぞれの立場を簡潔に整理しながらまとめ、さらに、福祉・教育・医療などの分野において、心理学で明らかになった事柄がどのように应用されているかを考察する。			
	レポ ー ト 2		清書		
	(ポイント)				
	科目終了試験	学修のポイント1・古典的条件づけと道具的条件づけについて 学修のポイント2・記憶のメカニズムについて 学修のポイント3・心理的ストレスについて		科目終了試験1月6日(火) 実施予定	
期 末 試 験 スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション				
2	学習の原理（1）				
3	学習の原理（2） 学修のポイント1 1200字レポート作成				
4	記憶のメカニズム（1）				
5	記憶のメカニズム（2）学修のポイント2 1200字レポート作成				
6	心理学の歴史：学問としての心理学の発展				
7	心理学の現代社会での応用				
8	設題1 3200字レポート 下書き				
9	適応とストレス（1）				
10	適応とストレス（2）学修のポイント3 1200字レポート作成				
11	3200字レポート 清書				
12	パーソナリティ				
13	心理査定				
14	現代の心理学の動向とまとめ				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、レポート内容を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使ってください。				
	レポート・学修のポイントの提出期限を守ってください。				

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	リハビリテーション医学概論	授業 形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	月曜・2限
担当教員	伊藤 大貴				
授業概要	作業療法士は、病気で生活に困難が生じた患者様に対し、少しでも早く社会復帰をできるようサポートしていきます。対象となる疾患は様々であり、それぞれの疾患特性(発生機序、症状、特徴、リスク管理)を理解していなければ、適切な支援ができず、社会復帰が遅れてしまいます。この授業で代表的な疾患の特性を学び、適切な支援ができる作業療法士を目指しましょう。				
学習目標	・リハビリテーションの語源、定義を自分の言葉で説明できる ・リハビリテーションで用いられる治療法や環境調整、車椅子駆動方法のポイントを説明できる ・各障害による症状や予測される作業活動制限、評価方法を自分の言葉で説明できる				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、リハビリテーションとは、運動療法(p.22-24、42-53)				伊藤 大貴
2回目	地域リハビリテーション医療、職業リハビリテーション(p.83-92)				伊藤 大貴
3回目	リスク管理、廃用症候群(p.93-100)				伊藤 大貴
4回目	運動障害(p.130-137)				伊藤 大貴
5回目	高次脳機能障害(p.149-157)				伊藤 大貴
6回目	視覚障害と半側空間無視の違い (p.171-173) ※単元テスト①				伊藤 大貴
7回目	脳血管障害(脳卒中)(p.184-201)				伊藤 大貴
8回目	脳外傷・低酸素血症・脳腫瘍・水頭症の概要と治療 P202～211				伊藤 大貴
9回目	脊髄損傷の評価と治療 P214～225				伊藤 大貴
10回目	骨・関節疾患の概要と治療 P244～260 ※単元テスト②				伊藤 大貴
11回目	小児疾患の概要と治療 P297～308				伊藤 大貴
12回目	スポーツ疾患の概要と治療 P310～316				伊藤 大貴
13回目	生活習慣病の概要と治療 P381～391				伊藤 大貴
14回目	感染症の概要と治療 P392～407				伊藤 大貴
15回目	まとめ				伊藤 大貴
教科書及び 参考書	PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション医学 第1版/羊土社				
成績評価	単元テスト①、②(各20%) 期末試験(60%) 欠席3点・遅刻は1点減点 1回目～5回目を単元テスト①、6回目～9回目を単元テスト②で出題します。期末テストは全範囲ですが、授業内で伝えたポイントや単元テストを中心に試験する予定です。授業内で理解できなかった部分は、そのままにせず、授業後にアポイントメントを取り、適宜解決するようにしてください。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
予習ではシラバスで指定した範囲の教科書を事前に読み、自身で重要だと思った部分にアンダーラインを引いてください。その後、授業でアンダーラインを引くよう指示された部分と整合性を確かめることで、効率良く知識として定着します。復習では各章の学習ポイントについて自身の言葉でまとめる事や、授業内でアンダーラインを引いたり、空欄補充を行った部分を中心に見直しをおこなうことが重要です。リハビリテーションに関する総論から各疾患の疫学や治療方法にも触れるため、範囲としては非常に広いと思われます。テスト前に慌てて勉強することが無いよう、日ごろから予習・復習する習慣を身につけ、知識の定着化を目指しましょう。					

心理学統計法(3550)		武野 全恵		併修科目・必修	
				1年	
				OT月曜3限	
授業のねらい	心理学で用いられる統計手法について、その基本的な考え方や理論を学び、統計に関する基礎的な知識を習得できるよう、心理学における統計の概要を理解する				
教科書・資料	テキストは使用せず、配布資料のみで授業を行う。その他に参考資料も配付する。				
設 題	レポ ー ト 1	下記の言葉をすべて用いながら、統計的仮説検定について述べよ。 「母集団」・「標本」・「帰無仮説」・「対立仮説」・「有意水準」 なお、言葉を用いる順番は特に指定しない。		下書	11月17日(月)
	(ポイント)	・ 上記の言葉を用いるときには、それぞれの定義 意味 についても述べること。 ・ 心理学の研究において、データを集めて分析する場合の基本的な流れを念頭においてレポートを作成するとよい。具体例の有無は問わない。 ・ 教科書の記述をただまとめただけのレポートは歓迎しない。拙くても良いので自分の言葉で記述することが求められる。 ・ 文献やインターネットからの 丸写しは容赦なく 不合格とする。 どこまでが文献からの引用であるかを明らかにする。		清書	12月22日(火)
	科目終了試験	学修のポイント1 平均値、中央値、最頻値の使い分けについて		科目終了試験1月6日(火) 実施予定	
		学修のポイント2 相関関係と因果関係の違いについて			
		学修のポイント3 記述統計と推測統計について			
期 末 試 験 スクーリング終了試験	詳細は、後日発表				
1	統計とは 記述統計と推測統計 標本や母集団について				
2	1200字レポート 学修のポイント3「記述統計と推測統計について」 (9月16日(月)提出)				
3	データとは 尺度水準や代表値、正規分布について				
4	1200字レポート 学修のポイント1「平均値、中央値、最頻値の使い分けについて」 (10月6日(月)提出)				
5	統計的仮説検定とは 第I種の誤りと第II種の誤りについて				
6	3200字レポート下書き 説題1「次の言葉をすべて用いながら、統計的仮説検定について述べよ。「母集団」・「標本」・「帰無仮説」・「対立仮説」・「有意水準」なお、言葉を用いる順番は特に指定しない。」 (11月17日(月)提出)				
7	2つの変数の関連について 相関関係について				
8	1200字レポート 学修のポイント2「相関関係と因果関係の違いについて」 (12月1日(月)提出)				
9	実験デザインとは 実験参加者間計画と実験参加者内計画について				
10	3200字レポート清書 説題1「次の言葉をすべて用いながら、統計的仮説検定について述べよ。「母集団」・「標本」・「帰無仮説」・「対立仮説」・「有意水準」なお、言葉を用いる順番は特に指定しない。」 (12月22日(月)提出)				
11	2つの平均を比較する 1 検定について				
12	3つ以上の平均を比較する 1要因分散分析について				
13	3つ以上の平均を比較する 2要因分散分析について				
14	科目修了試験対策				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成績評価	出 席 率	30点	80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期 末 試 験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授 業 内 評 価	20点	提出状況、授業態度を考慮して評価する。		
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントの [※] 切は厳守すること。期限を守れなかった場合、提出物点が減点となります。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。また、欠席するとその回は態度の評価ができませんので、授業態度点も減点となります。そのため、できるだけ欠席をしないよう体調管理等に気を付けてください。				

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	体表解剖学Ⅱ	授業形態	講義・ <u>演習</u> ・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	月曜・4限
担当教員	杉野潤也				
授業概要	作業療法士はその人が行いたい作業活動を可能にするために身体・精神機能を評価します。現機能がどの程度か知ることにより足りない機能の向上・改善を行い、困難であれば残存機能を最大限に生かし、適切な自助具や福祉用具等で環境を整える助言が必要になります。この授業では身体機能を評価する上で最重要となる筋の状態を確かめるための触診、筋力検査を実施していきます。				
学習目標	・筋の触診ができる ・徒手筋力検査が実施できる ・下肢筋の起始・停止がわかる				
回数					担当教員
1回目	下肢触診 1 股関節に関わる筋（腸腰筋～梨状筋）				杉野 潤也
2回目	下肢触診 2 股・膝関節に関わる筋（長内転筋～中間広筋）				杉野 潤也
3回目	下肢触診 3 膝・足関節に関わる筋（半腱様筋～長趾伸筋）				杉野 潤也
4回目	下肢触診 4 足関節に関わる筋（腓腹筋～短指屈筋）				杉野 潤也
5回目	体幹触診 胸郭・脊柱の筋（胸鎖乳突筋～腰部多裂筋）				杉野 潤也
6回目	実技テスト1、徒手筋力検査の基礎知識				杉野 潤也
7回目	上肢徒手筋力検査 1				杉野 潤也
8回目	上肢徒手筋力検査 2				杉野 潤也
9回目	上肢徒手筋力検査 3				杉野 潤也
10回目	上肢徒手筋力検査 4				杉野 潤也
11回目	上肢徒手筋力検査 5				杉野 潤也
12回目	下肢徒手筋力検査 1				杉野 潤也
13回目	下肢徒手筋力検査 2				杉野 潤也
14回目	頸部・体幹徒手筋力検査				杉野 潤也
15回目	実技テスト2、学習の振り返り				杉野 潤也
教科書及び参考書	テキスト① 機能解剖学的触診技術 下肢・体幹/メディカルビュー テキスト② リハビリテーション基礎評価学/羊土社 テキスト③ 新・徒手筋力検査法/協働医書出版社				
成績評価	期末テスト50%、実技テスト50%（触診25%、徒手筋力検査25%） 欠席-3点 遅刻-1点、授業態度 各実技テストについては日程が前後する可能性があります。随時、ご案内します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
講義外学習では予習・復習・テスト勉強・実技練習を含めて15時間の勉強を行うことで、必要な知識の定着が出来ると考えています。勉強で困ったことがあれば早めに報告・連絡・相談をしてください。治療室などで自習を行う際には教務室にアポイントメントを取ってください。触診の授業では実施しやすいように、半袖半ズボンなどの動きやすい服装で参加してください。実技テストでは学生同士での練習が必要です。実技テストまでに準備しておきましょう。 実技テストでは筋の名称、起始・停止などを覚えておく必要があります。実施分の筋を体表解剖学Ⅰで使用した資料も活用しましょう。実技テストは下肢筋の触診、徒手筋力検査について実施します。実際に対象者に実施する際には肢位などの変更を少なくしてスムーズに行い、安全かつ、心身の負担軽減、時間効率を考え行う必要があります。そのためには繰り返し練習して身体で覚えていくことが大切です。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅱ	授業 形態	講義 演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	火曜2限
担当教員	王 静舒				
授業概要	解剖学Ⅱでは、運動器系の一部を分担する。筋系とともに運動器系を形成する骨格系の基礎を学ぶ。主に、骨、軟骨、関節、靱帯等の骨格系の構造である。前期の細胞・組織などの知識を思い出しながら、系統的に学ぶ。				
学習目標	①骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明でき、さらに理解を深める。 ②運動器の構造と機能に関して、骨・軟骨・関節・靱帯の構造と機能を説明できる。 ③四肢の骨・関節を説明でき、主な骨の配置を図示できる。 ④頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤の構成を説明できる。				
回数					担当教員
1回目	骨格総論(Page27-35): 骨の構造や発生				王 静舒
2回目	骨格各論A頭蓋①(Page36-42): 外面・内面から見た頭蓋				王 静舒
3回目	骨格各論A頭蓋②(Page42-47): 新生児の頭蓋冠・頭蓋を構成する個々の骨				王 静舒
4回目	骨格各論B脊柱&C胸郭(Page48-57): 脊柱と胸郭の構成と特徴&個々の骨の名称や数				王 静舒
5回目	骨格各論D上肢の骨(Page58-67): 上肢帯&自由上肢骨、骨の名称や数				王 静舒
6回目	骨格各論E下肢の骨①下肢帯(Page68-72): 骨の名称や数、骨盤の構成				王 静舒
7回目	骨格各論E下肢の骨②自由下肢骨(Page72-82): 個々の骨の名称や数				王 静舒
8回目	関節靱帯総論(Page85-101): 連結の種類、関節の構造と機能、関節の分類&機能				王 静舒
9回目	関節靱帯各論A頭蓋の連結(Page102-106): 顎関節の特徴、脊柱の連結				王 静舒
10回目	関節靱帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結①(Page107-109) 脊柱と頭蓋の連結				王 静舒
11回目	関節靱帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結②(Page109-111): 胸郭の連結				王 静舒
12回目	関節靱帯各論C上肢の連結①(Page112-121): 上肢帯の連結と自由上肢骨の連結				王 静舒
13回目	関節靱帯各論C上肢の連結②(Page121-126): 手の連結				王 静舒
14回目	関節靱帯各論D下肢の連結①(Page126-136): 下肢帯の連結と自由下肢骨の連結				王 静舒
15回目	関節靱帯各論D下肢の連結②(Page137-143): 足の連結				王 静舒
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学[専門基礎分野] 解剖学(第6版)(医学書院)				
成績評価	期末試験(筆記試験)(50%以上)、小テスト及び提出課題(35%以下)、出席(15点)などで総合的評価				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
①授業前の予習は大事！初耳の専門用語は繰り返し音読してみる					
②授業中、配布資料を参考してメモやノートをしっかり取る					
③授業中の質問&問題を積極的に考えて答える					
④授業後の復習はしっかりやり、課題を期限内に提出する					
⑤毎回の小テストは真面目に挑んでみる					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

	人間発達学	授業 形態	講義 演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	火曜・3限
担当教員	杉野 潤也				
授業概要	私たちは普段、当たり前に行っている、箸を使って食べ、友人とお喋りしていますが、それらが可能となるまでにはさまざまな機能の発達に関わっています。どのようなことが関わりあって人は発達していくのかについて学んでいきましょう。あらためて各発達段階におけるステージを通して人を考える機会になる授業です。				
学習目標	1. 人間の各機能(身体、運動、認知、言語、社会性)がどのように発達していくのかを説明できる 2. 各ライフステージにおける機能面、活動面の特徴が説明できる				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション、人間発達学の基礎 P1～18				杉野 潤也
2回目	ライフステージにおける発達の特徴1				杉野 潤也
3回目	ライフステージにおける発達の特徴2				杉野 潤也
4回目	ライフステージにおける発達の特徴3				杉野 潤也
5回目	ライフステージにおける発達の特徴4				杉野 潤也
6回目	ライフステージにおける発達の特徴5				杉野 潤也
7回目	確認テスト①;報告発表(ライフステージにおける発達)				杉野 潤也
8回目	運動の発達1				杉野 潤也
9回目	運動の発達2				杉野 潤也
10回目	運動の発達3				杉野 潤也
11回目	運動の発達4				杉野 潤也
12回目	運動の発達5				杉野 潤也
13回目	運動の発達6				杉野 潤也
14回目	確認テスト②(運動の発達)、発達の評価				杉野 潤也
15回目	学習の振り返り				杉野 潤也
教科書及び 参考書	人間発達学;笹田哲,診断と治療社				
成績評価	期末テスト60%、確認テスト①②40%、欠席1回-3点、遅刻1回-1点、授業態度				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
人間発達を理解することは、人間への理解を深めることにつながります。また、今後に学習予定の作業療法の治療学を学ぶ際にも役立ちます。各時期の発達は覚えるのが大変ですが、各機能の発達を有機的に関連づけながら覚えていきましょう。授業は確認テストを行い、段階的に学習理解が深められるような構成を取っております。毎回の復習も取り入れながら、しっかり学べるようにしていく予定です。授業中の発言は積極的に行いましょう。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動学Ⅱ	授業 形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	火曜・4限
担当教員	杉野 潤也 ・ 石田 敦子				
授業概要	後期の運動学では、前期に習得したROM測定を全てできるよう練習し、その後、頭部や体幹の運動など全身の運動を学習して姿勢や歩行などの運動がどのように行われているかということを学習します。また、乳児から成人までの姿勢の発達や、運動をより上手に行うための練習方法なども学びます。患者さんや小児領域のお子さんの姿勢の観察や分析、患者さんの有効なトレーニング方法を考えるための基礎となる部分を身につけていきましょう。				
学習目標	・模擬患者に対して1人で上下肢のROMを実施することができる ・頸部、体幹、骨盤の運動方向と主動筋との関係について述べるができる ・呼吸・嚥下のメカニズムについて説明することができる ・姿勢、歩行時の関節運動、重心、関節モーメントについて説明することができる ・運動発達と運動学習理論について説明ができる				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 下肢関節可動域測定 ①P154～189				石田 敦子
2回目	下肢関節可動域測定 ①P190～215				杉野・石田
3回目	上肢関節可動域測定(復習) ①P62～123				杉野・石田
4回目	関節可動域測定練習				杉野・石田
5回目	実技試験 関節可動域測定				杉野・石田
6回目	体幹の運動(呼吸を含む) ②P155～P171				石田 敦子
7回目	頭部の運動(顔面、咀嚼、嚥下を含む) ②P172～P182				石田 敦子
8回目	姿勢 姿勢の分類、姿勢保持、姿勢評価 ②P183～P207				石田 敦子
9回目	歩行① 歩行周期と距離時間因子 ②P208～212 <u>確認テスト①(P155～207)</u>				石田 敦子
10回目	歩行② 歩行のキネマティクス、運動力学 ②P212～229				石田 敦子
11回目	歩行③ 歩行のエネルギーと最適歩行、走行 ②P229～239				石田 敦子
12回目	運動の発達 P240～268				杉野 潤也
13回目	運動の学習① 運動学習とは P270～282				杉野 潤也
14回目	運動の学習② 運動学習の形成過程 P283～293				杉野 潤也
15回目	運動発達と運動学習のまとめ、 <u>確認テスト②(P240～293)</u>				杉野 潤也
教科書及び 参考書	①臨床ROM 測定からエクササイズまで/ヒューマン・プレス ②標準理学療法学・作業療法学 運動学/医学書院				
成績評価	期末テスト50%、実技試験20%、確認テスト30%、欠席1回で3点、遅刻1回で1点減点します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
1～4回の授業では、ROM測定を習得し、5回目で上下肢の可動域測定の試験を実施します。 6～11回の授業では、体幹や顔面の運動と姿勢や歩行時の関節や重心の働きについて学習します。確認テスト①は6～8回目を範囲とします。習った単語を適切に組み合わせて、動作の組み合わせや流れについて説明ができるようになってもらいたいと思います。6～11回授業の定期テストは確認テスト①以外の範囲を多く出題する予定です。質問があれば事前にアポイントを取り、教員と予定のすり合わせを行ってください。 12～15回の授業では、運動の発達と運動の学習について学習します。確認テスト②は12～15回目を範囲とし、学習目標に沿った内容を問います。人間理解を深めるために、運動発達の過程と運動学習のしくみを学ぶことは大切です。毎回の授業で提示されるキーワードをしっかりと理解して、自分なりのことばで説明できるようになってください。授業には教科書を持参してください。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	死生学	授業 形態	講義 演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	水曜・1限
担当教員	大兼健寛				
授業概要	日本では脳死、尊厳死などに代表される生命の在り方について社会的な関心が高まっている。 本科目では、これらの事柄に対する思索を幅ひろく深めるなかで、「生命」の自己決定について考える。				
学習目標	①死の判定や脳死について理解する②インフォームド・コンセントについて理解する ③ホスピスの役割について理解する④リビング・ウィルについて理解する ①～④の事柄を通して、生命倫理、人の尊厳、個人や集団の死生観を幅広く理解する				
回数					担当教員
1回目	ガイダンス、「死」について考えてみるー例えば「死」をテーマにした作品などー				大兼健寛
2回目	「死」についての医学的考察				大兼健寛
3回目	インフォームド・コンセントの概要				大兼健寛
4回目	リビング・ウィルの概要				大兼健寛
5回目	「死」の判定や脳死、告知やリビング・ウィルにおける課題				大兼健寛
6回目	インフォームドコンセントにおける知る権利				大兼健寛
7回目	ホスピスの役割				大兼健寛
8回目	アドバンスケア・プランニングという概念				大兼健寛
9回目	中間まとめ、小テスト				大兼健寛
10回目	「死」とは何か？				大兼健寛
11回目	「死」にまつわるエトセトラ				大兼健寛
12回目	現代人はなぜ「死」を忌避するのか				大兼健寛
13回目	「未知」に対峙する「人」				大兼健寛
14回目	医療人として「死」と対峙するとき				大兼健寛
15回目	「死」を題材にした作品鑑賞				大兼健寛
教科書及び 参考書	授業はプリントテキストを使用。参考書:星野一正『医療の倫理』岩波新書				
成績評価	出席率30%、期末試験50%、授業内評価20%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
グループディスカッションを取り入れた授業を行いますので、主体的に取り組んで下さい。 レポート等提出物があつた場合、締切は厳守して下さい。 「生」と「死」について、他人ごとではなく、自分ごととして捉え、しっかり取り組んで下さい。 授業内容が辛い場合、一時的に退席してもらっても構いません。 辛いことは悪いことでは決してありません。あなたが「生」と「死」について、真正面から向き合った結果だからです。					

福祉と教育(1331)		吉安 功一		併修科目・必修	
				1年	
				PT・OT水曜3限	
授業のねらい	東京福祉大学は「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」ことを建学の精神としている。この科目では、福祉・教育・保育・心理・医療などを学ぶ基礎的な力を身に付けることを目指すとともに、社会における様々な課題に理解を深め、現代で新たに求められている能力とは何かを探究する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポ ー ト 1	教科書と「ワーク」を通して学んだこと、及び社会福祉を学ぶことの意義について述べよ。	下 書		
	(ポイント)	「生きづらい」及び「排除」を扱った各章の内容と重要概念を述べること。具体的には、第1章～第4章の各事例についてそれぞれ述べ、その際に「子どもの貧困」や「周縁化集落」「認知症」「人身取引」の各概念について説明すること。また「排除」という観点から第5章～第8章について各章の内容をまとめ、その際に「社会的排除」「優性思想」「性的マイノリティ」「社会的擁護」の概念について説明すること。その上で、社会福祉を学ぶ事の意義について第9章～第12章の内容を参考に「支える」という視点から自分の将来と関連させながら考えをまとめてほしい。	清 書		
	科目終了試験	学修のポイント・1 社会的排除について 学修のポイント・2 子どもの貧困について 学修のポイント・6 性的マイノリティについて	科目終了試験 日程調整中		
	期 末 試 験 ・ スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション 及び 第1章～第4章 「生きづらさ」という観点からの学び				
2	第1章～第4章 「生きづらさ」という観点からの学び				
3	第5章～第8章 「排除」という観点からの学び				
4	第5章～第8章 「排除」という観点からの学び				
5	第9章～第12章 「支える」という視点からの学び				
6	第9章～第12章 「支える」という視点からの学び				
7	レポート1 作成指導及び作成（下書き作成）				
8	学修のポイント①社会排除について				
9	上記 ポイント作成				
10	レポート1 作成指導及び作成（清書作成）				
11	学修のポイント②子どもの貧困について				
12	上記 ポイント作成				
13	学修のポイント⑥性マイノリティについて				
14	上記 ポイント作成				
15	「福祉と教育(1331)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末テスト				
成績 評価	出 席 率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期 末 試 験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅲ	授業 形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	木曜・1限
担当教員	丹羽 千春				
授業概要	神経系の解剖学を学習する。神経系は、個体の生存や種族の維持のために内外の環境変化に適応できるよう発達してきた精緻な器官である。収集された情報を処理する中枢神経系、情報や指令の伝達に参与する末梢神経系について理解する。				
学習目標	神経系の基本的な構成について理解する。 脊髄および脳の構造を理解し、機能と関連づけて説明できる。 脊髄神経・脳神経・自律神経系の基本構成を学ぶ。 脊髄神経と脳神経の走行、特に上肢・下肢に分布する神経叢の走行と傷害されやすい部位を学ぶ。				
回数					担当教員
1回目	神経系総論(P.225-P.236)				丹羽 千春
2回目	中枢神経系①脊髄(P.237-P.241)				丹羽 千春
3回目	中枢神経系②脳幹(P.241-P.247)				丹羽 千春
4回目	中枢神経系③小脳(P.247-P.251)				丹羽 千春
5回目	中枢神経系④大脳:間脳・大脳半球の表面と区分・皮質と髄質(P.251-P.259)				丹羽 千春
6回目	中枢神経系⑤大脳:大脳皮質の局在性・大脳基底核(P.259-P.264)				丹羽 千春
7回目	中枢神経系⑥上行性神経路(P.264-P.271)下行性神経路(P.271-P.273)				丹羽 千春
8回目	小テスト(前半)				丹羽 千春
9回目	末梢神経系①脊髄神経:頸神経・頸神経叢(P.274-P.278)				丹羽 千春
10回目	末梢神経系②脊髄神経:腕神経叢(P.278-P.285)				丹羽 千春
11回目	末梢神経系③脊髄神経:胸神経・腰神経叢・仙骨神経叢・尾骨神経叢(P.285-P.296)				丹羽 千春
12回目	末梢神経系④脳神経-1(P.296-P.308)				丹羽 千春
13回目	末梢神経系⑤脳神経-2(P.296-P.308)				丹羽 千春
14回目	末梢神経系⑥自律神経(P.308-P.312)				丹羽 千春
15回目	小テスト(後半)				丹羽 千春
教科書及び 参考書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第6版、医学書院				
成績評価	期末試験80%、授業内確認テスト及び提出課題20%、出席・授業態度は試験点数不足時に考慮				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
しっかりと予習・復習をし、必要な内容を簡潔にまとめたり、イラストや図でイメージ学習を心がけてください。 解剖学用語は覚えるしかないので繰り返し学習することで覚えましょう！何度もやれば脳が学習して記憶します。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	医療英会話	授業 形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	木曜・2限
担当教員	石田 敦子				
授業概要	国際化社会により作業療法士が外国の患者様を受け持つことや多様な文化的背景をもつ対象者に対して作業療法を提供する機会が増えています。作業療法士は、英語をはじめとする異なった言語を用いる患者様に英語で評価や治療を説明したり対応する必要があります。 本講義では、作業療法の問診や実施する評価、集団作業療法でアクティビティを提供する際に用いる英語について学びます。講義の後半では、英語でレクリエーションを提供することで実践を通して英語を学びます。				
学習目標	① 英語で自己紹介をし、挨拶ができる。 ② 作業療法評価を行う際に英語で指示を出すことができる。 ③ 英語で作業活動の方法を説明できる。 ④ 英語を使ってレクリエーションを実施することができる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 初回の挨拶をしよう				石田 敦子
2回目	3分間で自己紹介を行う練習(物品などの使用可)				石田 敦子
3回目	パフォーマンステスト① 自己紹介(3分間スピーチ)				石田 敦子
4回目	基本的・応用的肢位を指示する英語を使ってみよう				石田 敦子
5回目	自動・他動可動域を測定してみよう				石田 敦子
6回目	パフォーマンステスト② 作業療法評価				石田 敦子
7回目	作業活動を説明する英語① 作業活動の選択、手順の確認				石田 敦子
8回目	作業活動を説明する英語② 作業活動の英語文章制作				石田 敦子
9回目	作業活動を説明する英語③ 作業活動の英語説明練習				石田 敦子
10回目	パフォーマンステスト③ 作業活動説明				石田 敦子
11回目	レクリエーション① レクリエーション計画書の作成				石田 敦子
12回目	レクリエーション② レクリエーション準備				石田 敦子
13回目	レクリエーション③ リハーサル				石田 敦子
14回目	レクリエーション④ 振り返りと修正				石田 敦子
15回目	レクリエーション⑤ レクリエーション実施				石田 敦子
教科書及び参考書	なし				
成績評価	パフォーマンステスト(15%)×3回 レクリエーション実施(15%) 期末テスト(40%)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
英語を話すことに苦手意識のある学生さんもあるかもしれませんが、でも英語を話すことができれば、海外からの患者さんに対しても堂々と作業療法士として評価や治療ができます。相手に伝えるために英語を学びましょう。 外国の方とコミュニケーションをとるためには英語力はもちろん、非言語的コミュニケーション力も重要です。日本人であっても言語障害によってコミュニケーションが困難な患者さんもしらっしゃいます。そのため、自分の思いを言語以外でも伝えられるようになると、こういった方とのやり取りも行いやすくなると思います。パフォーマンステストでは自分の思いを英語または非言語によって伝えられるかどうかを評価します。レクリエーションも同様です。 英会話に慣れるためにはリスニング、リピート、シャドーイング、アウトプットが重要です。模範会話についてこのような流れで授業を進めていきます。 期末テストは持ち込み可とします。					

学習・言語心理学(3660)		木村洋太		併修科目・必修	
				1年	
				OT木曜3限	
授業のねらい	人間は、生まれてから死ぬまでの間に、いろいろなことを記憶したり、忘れたりする。あるいは、過去の学習を基礎に、新しい学習を行うといったように、日常生活において常に学習をしている。本科目では、学習・言語心理学が日常生活のあらゆる場面で の行動の基礎になっていることを理解するため、行動療法や行動分析の手法の基本でもある条件づけを中心に取り上げ、人の行動 が変化する過程、言語の習得における機序について学ぶ。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポ ー ト 1	「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」とについて、それぞれ何かを日常的な具体例を挙げながら簡単に述べ、両者の類似点と相違点をまとめよ。	清 書	12月4日(木)	
	(ポイント)	1.なお具体例に関しては、あなたにとって日常的なものを挙げるのが好ましいが、下記の語群の中から選択しても構わない。(パブロフの犬、恐怖、赤面症、禁煙、ギャンブル、パチンコ、言語、お金、ダイエット、イルカの輪くぐり、お手伝いする子ども、名画を見分けるハト) 2.2種類の条件づけの基本的な仕組みと違いを理解した上で、自らの日常的な行動が、いかに条件づけ理論によって説明可能であることを示すこと。さらに、どのように条件づけ理論を活用すれば、その行動の生起を増やしたり減らしたりコントロールすることが可能となりうるかまで踏み込めれば、なお良い。			
	レポ ー ト 2		清 書		
	(ポイント)				
	科目終了試験	学修のポイント3・学習性無力について 学修のポイント5・試行錯誤学習と洞察学習について 学修のポイント6・言語獲得について		科目終了試験12月18日(木) 実施予定	
期 末 試 験 スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	「学習」とは何か:学習・言語心理学における「学習」の定義や特徴を理解する。				
2	古典的条件づけについて:GW(日常の古典的条件づけ)				
3	古典的条件づけでわかる研究結果				
4	随伴性の理解				
5	オペラント条件付けについて:GW(日常のオペラント条件付け)				
6	オペラント条件付けでわかった研究結果 1				
7	オペラント条件付けでわかった研究結果 2				
8	レポート1 作成指導				
9	学修のポイント3:学習性無力感について レポート作成+提出				
10	学修のポイント5:試行錯誤と洞察学習 レポート作成+提出				
11	技能学習とは				
12	言語の獲得の過程について				
13	学修のポイント6:言語獲得の過程 レポート作成+提出				
14	応用行動分析について				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成績 評価	出 席 率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期 末 試 験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントのすべては厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2025年度 後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学Ⅱ	授業 形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	金曜・1限
担当教員	杉野潤也				
授業概要	この授業では、生理学の神経、筋、呼吸・循環器などの身体を動かす機能を中心に学習します。私たちの身体の中で何が起きているのかがわかると、病気の原因が理解できるようになります。生理学は作業療法の対象疾患・障害の病態や発生メカニズムを理解することに役立ちます。				
学習目標	・呼吸器の機能について説明できる。 ・泌尿器の機能について説明できる。 ・消化器の機能について説明できる。 ・内分泌器の機能について説明できる。 ・生殖器の機能について説明できる。 ・運動による循環と代謝について機能の変化を説明できる。				
回数					担当教員
1回目	呼吸とガスの運搬1(第9章)				杉野潤也
2回目	呼吸とガスの運搬2(第9章)				杉野潤也
3回目	尿の生成と排泄1(第10章)				杉野潤也
4回目	尿の生成と排泄2(第10章)				杉野潤也
5回目	酸塩基平衡(第10章)				杉野潤也
6回目	確認テスト①(9・10章の内容)、消化と吸収1(第11章)				杉野潤也
7回目	消化と吸収2(第11章)				杉野潤也
8回目	消化と吸収3(第11章)				杉野潤也
9回目	代謝と栄養1(第12章)				杉野潤也
10回目	栄養と代謝2(第12章)				杉野潤也
11回目	内分泌(第13章)				杉野潤也
12回目	確認テスト②(11・12・13章の内容)、生殖と発生1(第14章)				杉野潤也
13回目	生殖と発生2(第14章)				杉野潤也
14回目	運動生理1(第15章)				杉野潤也
15回目	運動生理2(第15章)、振り返り				杉野潤也
教科書及び 参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院				
成績評価	定期テスト60%、確認テスト①②40%(各20%)、欠席減点3、遅刻減点1、授業態度				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
教科書の重要ポイントを理解できるように授業で支援します。そのためには皆さんの積極的な授業参加姿勢が必要です。授業では、知識理解に役立つプリントを用意します。授業後はプリントで復習を行ってください。頻出の専門用語を理解するには復習は大事です。成績は基本的に確認テストと期末テストで判断します。質問は授業後に随時対応します。授業時間内で質問できなかったことや、わからなかったことを相談してください。					

心理学的支援法(基礎)(3590)		平石 太一		併修科目・必修	
				1年	
				OT金曜2限	
授業のねらい	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に理解する。さらに、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。				
教科書・資料		大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。			
設 題	レポート 1	カウンセリングが発展するに至った近代以降の歴史を簡潔に述べ、どうい 人を対象としてどのように進めていくのか、その技法などに触れながら述べ よ。	清 書	11月28日(金)	
	(ポイント)	まず、20世紀半ばに助言指導、職業指導から始まったカウンセリングの歴史 を知る。次に、のような人を対象に行われ、どのように進めていくものを学 ぶ。カウンセリングは決して万能ではなく、その対象者も限られることを考慮 すること。			
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	学修のポイント3 支援対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について 学修のポイント2 心理学的支援の過程について 学修のポイント5 心理学的支援を行う者と支援対象者との関係について		科目終了試験12月26日(金) 実施予定	
	期 末 試 験 スクーリング終了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション				
2	心理学的支援とは何か				
3	支援対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について①				
4	支援対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について②				
5	心理学的支援に関する代表的な理論				
6	心理学的支援の過程について①				
7	心理学的支援の過程について②				
8	心理学的支援を行う者の基本的態度について				
9	カウンセラーの訓練、心理学的支援を行う際のプライバシーへの配慮について				
10	カウンセリングの対象と限界について				
11	心理学的支援を行う者と支援対象者との関係について				
12	日常から考える心理学的支援①				
13	日常から考える心理学的支援②				
14	まとめ				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成 績 評 価	出 席 率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期 末 試 験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすること を心がけてください。				
	レポート・学修のポイントの厳守は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。 授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指 定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求め ます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリ ングへ参加することになります。				

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	基礎作業学Ⅰ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	金曜・3限
担当教員	村谷 澄哉				
授業概要	本講義では、作業科学に基づき、作業を包括的に分析する方法を学びます。身体領域におけるリハビリは、1単位20分、精神科領域におけるリハビリは1単位2時間です。作業療法のリハビリ時間にどのようなアクティビティを処方し、実施をするとよいか計画を立てる際には、作業の特性についての知識が必須です。本講義では、作業を包括的に分析する方法を知り、実習において実施した作業を分析することによって包括的作業分析を学びます。				
学習目標	① 治療契約によって私たちが患者に提供するものを答えることができる。 ② 包括的作業分析の項目について説明できる。 ③ 貼り絵、パラコード、革細工の概要と技法について包括的作業分析レポートにまとめることができる。 ④ 各アクティビティの身体的・精神的治療効果を説明できる。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション 治療契約 作業科学、健康促進に向けた作業の活用(②P218-223)				村谷 澄哉
2回目	作業の要素(基礎項目、道具・材料、作業過程・結果、交流・コミュニケーション、リスク)				村谷 澄哉
3回目	人間作業モデル(MOHO)と作業(P235-244)				村谷 澄哉
4回目	集団の治療的利用 セラピストの集団内での役割(①P69-82) 貼り絵概論				村谷 澄哉
5回目	作業実習 貼り絵(実技)				村谷 澄哉
6回目	作業実習 貼り絵(実技)				村谷 澄哉
7回目	貼り絵作業の特性(②P139-149) ※レポート①				村谷 澄哉
8回目	作業実習 パラコード・プレスレットの基礎				村谷 澄哉
9回目	作業実習 パラコード(実技)①				村谷 澄哉
10回目	作業実習 パラコード②				村谷 澄哉
11回目	パラコード作業の特性 ※レポート②				村谷 澄哉
12回目	作業実習 革細工の基礎(②P98-107)				村谷 澄哉
13回目	作業実習 革細工(実技)①				村谷 澄哉
14回目	作業実習 革細工(実技)②				村谷 澄哉
15回目	革細工作業の特性 ※レポート③				村谷 澄哉
教科書及び 参考書	① ひとと集団・場 新版/三輪書店 ② 作業療法学ゴールドマスターテキスト 作業学/MEDICAL VIEW				
成績評価	レポート30% (10%×3回) 期末試験 70% ※欠席は3点、遅刻は1点減点とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
今回の講義では、貼り絵、パラコードを用いたプレスレット作成、革細工を通して、作業療法士のみている視点について伝えます。各作業について包括的作業分析を行い、レポートにまとめます。実習では、OTとして作業を計画し、処方します。作業の要素も含めた理解を進めましょう。また、作業を実施する際には、どのような効果があるのか、どのような対象者に実施ができるかを体験しながら考えていきましょう。 皆さんにとって初めてアクティビティ実技となります。不明点や作業が思うように進まない時には相談をしてください。アクティビティにも自信のあるOTになりましょう。					

2025年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	見学実習事前・事後指導Ⅰ	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次 曜日・時限	OT・1年 月～金曜・1～4限
担当教員	OT専任教員				
授業概要	見学実習では、実習生としての身だしなみと謙虚な姿勢で実習を行なえること、実習施設の規則を守ることと環境整備に努めることができること、社会人として時間厳守と報告・連絡・相談を適時行えること、提出物等の遅れがないこと、文献などを活用して知識の向上に努められること、対象者の障害を理解してコミュニケーションが取れること、作業療法士の役割が理解できることが求められます。有意義な実習となるよう事前準備及び、終了後実習報告会にて振り返りを行います。				
学習目標	・見学実習において必要となる、基本的な介助方法や患者様との接し方などの実技能力を身につける ・2年次に学んだ評価を行う事が出来る ・作業療法士として相応しい対応を、対象者及び実習指導者に対して行う為の準備ができる ・学んだ事についてデイリーノートなどを用いて表出し、スーパーバイザーに提出する模擬練習ができる。				
回数					担当教員
1回目	学生紹介表の作成・社会的交流技能の説明				OT教員
2回目	実習想定場面での面接・観察と病態予測について				OT教員
3回目	療法士面接・バイタル測定 ①P120～128 P140～171				OT教員
4回目	関節可動域測定 ①P172～193				OT教員
5回目	筋力測定 ①P194～226				OT教員
6回目	形態計測 ①P227～241				OT教員
7回目	感覚検査 反射検査 立位バランスの評価 ①P275～301 P370				OT教員
8回目	脳卒中の麻痺側運動機能の評価 運動失調検査 ①P312～330 P356～369				OT教員
9回目	移乗介助 ①P93～117				OT教員
10回目	実技練習				OT教員
11回目	実技練習				OT教員
12回目	実技練習				OT教員
13回目	OSCE(実技テスト)1				OT教員
14回目	OSCE(実技テスト)2				OT教員
15回目	電話連絡の方法、文献の調べ方について ②P98～103				OT教員
16回目	作業観察の視点と、デイリーノートの記載方法(ADL・リハビリ・レク場面) ②P64～97				OT教員
17回目	身体障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)				OT教員
18回目	老年期障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)				OT教員
19回目	精神障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)				OT教員
20回目	お礼状の作成 ②P106～107				OT教員
21回目	実習報告会1				OT教員
22回目	実習報告会2				OT教員
23回目	実習報告会3				OT教員
教科書及び参考書	①PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版 金原出版株式会社 ②これで解決PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド 株式会社金芳堂				
成績評価	OSCE(50%) 社会的交流技能(30%) 実習報告会(20%) 欠席は3点、遅刻は1点減点 学生心得第5章、第21条第1・2項のルール等を違反している場合には減点とする場合がある OSCEでは、対象者を観て挨拶やコミュニケーション、面接、バイタル測定を実施し、どのような病態か、何を困っているのか、それらを明らかにするにはどのような評価を選択すればよいか検討し実施できるかをテストします。OSCEが不合格の場合は再試験をおこないます。 社会的交流技能では実習にいくための基本的な態度が備わっているかを教員が評価します。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
授業内にて臨床実習で役立つプリントを配布します。ファイルを準備し、実習中に使用できるよう適宜ファイリングしてください。 授業内だけでなく、授業外の学習も重要となります。実技に関しては授業前後に実技室を使用し友達同士はもちろん、教員にアポイントメントを取り、積極的に練習してください。また、自身の分野に関する事前学習課題を各自に提示します。 臨床実習は1年間の学びを実際の対象者を通して再度学びなおしたり、授業で別々に学んだ知識を対象者を通して統合していく、非常に深い学びの時間となります。その時間を有意義なものとするために、しっかりと準備して前提知識を蓄える事が大切です。前提知識を十分に蓄えることで、バイザーから質問をされた場合にも返答することができるようになり、それらの知識を応用するおもしろさに気づけます。しっかりと準備をして臨みましょう。					